1/23 朝

国内感染5029人 東京1175人

国内では22日、新たに5029人の新型コロナウイルス感染が確認されました。東京都の新規感染者は1175人。1000人を超えたのは10日連続ですが、緊急事態宣言の発令期間初日だった2週間前の8日（2392人）からほぼ半減。死者は大阪府で16人、兵庫県で12人など全国で計108人増えました。埼玉県で1日当たり最多となる11人の死亡が確認され、千葉県で60代男性が自宅療養中に死亡していたことなどが判明しました。

外国人受け入れ困難

医師会長、五輪開催時に

日本医師会の中川俊男会長は22日、東京都内で開かれた内外情勢調査会で講演しました。新型コロナウイルスの感染者数が高止まりする中、「医療崩壊が頻発している」と強い危機感を表明。その上で、東京五輪・パラリンピック開催時の外国人受け入れについて、「受け入れ可能かというと可能ではない」と述べ、現在の感染状況では困難との認識を示しました。

中川氏は「外国からたくさんのお客が来て、選手団だけでも大変な数だ」と指摘し、患者数のさらなる増加を懸念。五輪開催の可否については明言を避けました。

年末年始以降の感染者数の急増にも言及。政府の「Go To キャンペーン」などを念頭に「いろいろな緩みをつくる政策があったかもしれない」とした上で、「現状のまま感染者が増え続けると、助かる命に優先順位を付けなければならない状態になる」と警鐘を鳴らしました。

民間病院でコロナ患者の受け入れが進んでいないとの指摘に関しては、急性期病床の少ない中小規模の病院では専門性のある医師、看護師の確保が難しいと説明しました。